

令和3年度
市民満足度調査
結果報告書

令和3年10月
小矢部市

目 次

I	調査の概要.....	1
1	令和3年度市民満足度調査 実施要領.....	1
2	回答結果.....	1
3	回答者の内訳.....	2
II	調査結果の概要.....	5
	○第7次総合計画に掲げた政策ごとの「満足度」及び「重要度」について.....	5
	○政策ごとにみる「重要度」と「満足度」との関係.....	8
	○小矢部市に対する総合的な「満足度」について.....	10
	○新型コロナウイルス感染症の影響について.....	12
	○市への意見・要望など.....	16
III	使用した調査票.....	23

— この冊子の見方 —

図表中の回答比率は百分率で示し、小数点第2位を四捨五入した。
したがって百分比が100%とならない場合や超える場合がある。

I 調査の概要

1 令和3年度市民満足度調査 実施要領

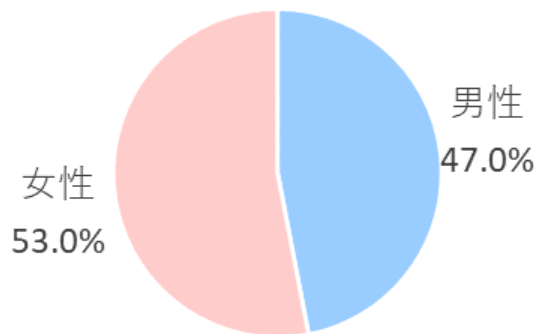
- 1 概要 市政の現状について、市民のまちづくりへの考え方及び意見を調査し把握することにより、市民のニーズに対応した市政運営を目指すため、平成21年度から2年ごとに実施するもの。
- 2 対象者 満18歳以上の市民から無作為抽出した1,250人（有権者の約5%）
※ ただし、年代別分析を一定程度重視するため、前回調査の年代別回収率を参考に、各年代の対象者数を決定した。
- 3 調査基準日 令和3年7月1日
- 4 配布方法 調査票を郵送により配布
- 5 回答方法 同封の郵送提出用封筒による郵送回答
- 6 回答期限 令和3年7月16日（金）
※ ただし、令和3年8月6日（金）までの回答分を、調査結果分析の対象とした。
- 7 調査項目
 - ・第7次総合計画に係る各種政策の満足度及び重要度並びに市に対する総合的な満足度
 - ・新型コロナウイルス感染症に関する意見、要望
- 8 活用方法 市民の満足度を評価指標として、第7次総合計画における政策目標の達成状況を検証し、今後の行政運営に役立てる。
- 9 結果の公表 広報おやべ及びホームページで公表する。
- 10 実施機関 小矢部市企画政策部企画政策課

2 回答結果

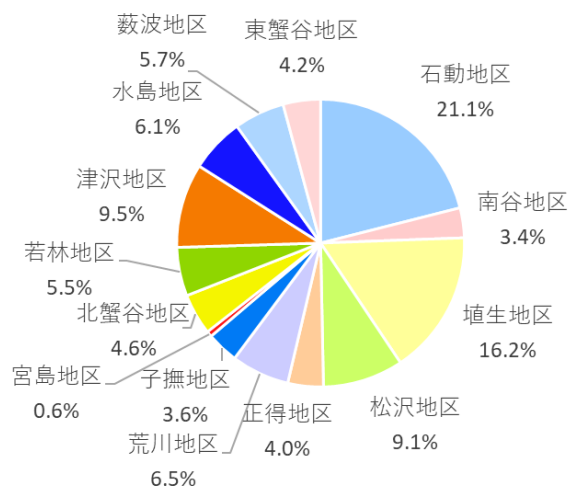
- 1 対象者 1,250人
- 2 回答者 479人
- 3 回答率 38.3%

3 回答者の内訳

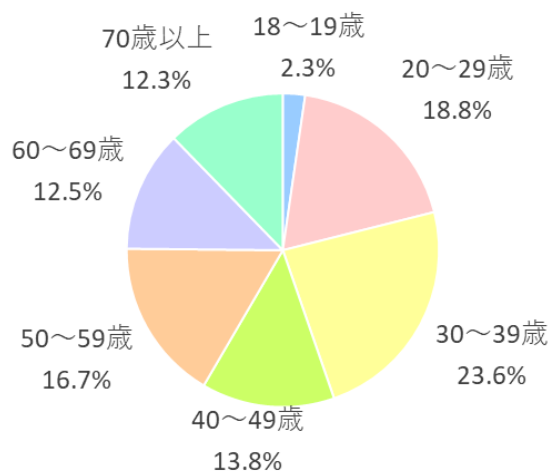
(1) 性別



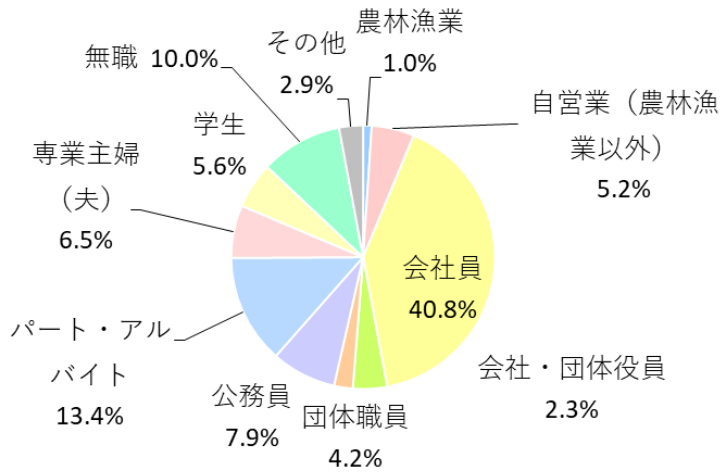
(2) 居住地区



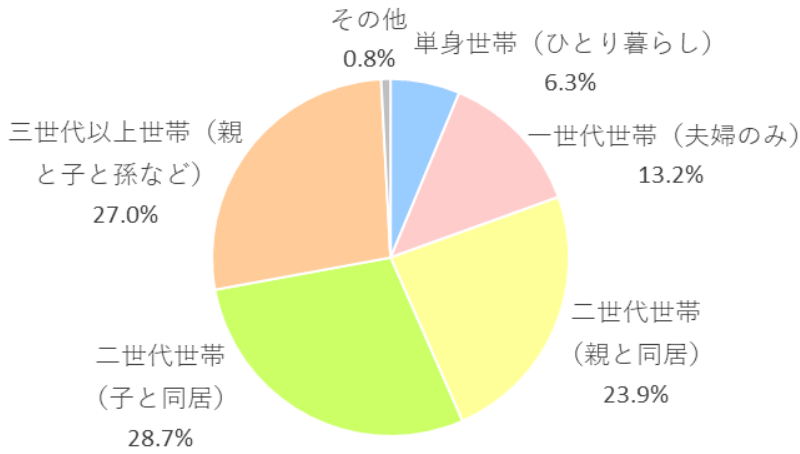
(3) 年齢



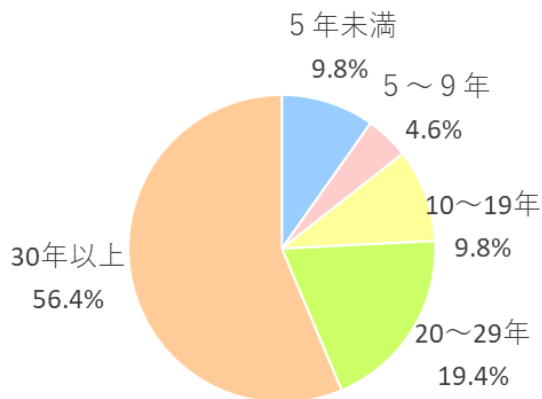
(4) 主な職業



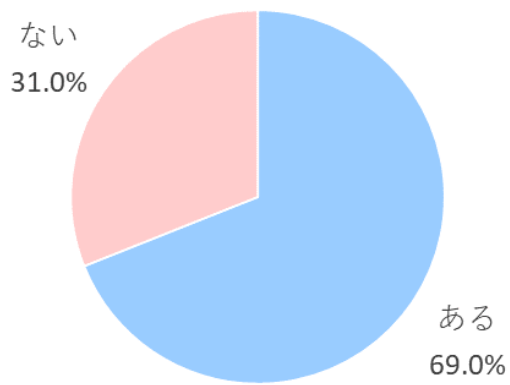
(5) 現在の世帯構成



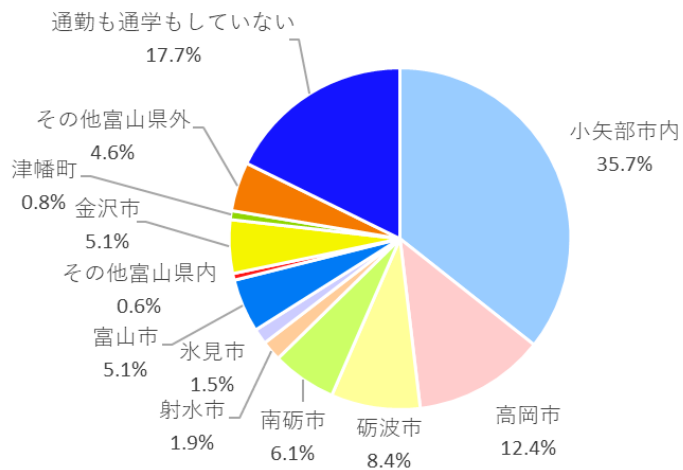
(6) 小矢部市居住の通算年数



(7) 小矢部市外居住の経験



(8) 通勤・通学先



II 調査結果の概要

○第7次総合計画に掲げた政策ごとの「満足度」及び「重要度」について

●「満足度」の高い政策及び「満足度」の低い政策

・全体にみる「満足度」の高い政策及び「満足度」の低い政策（上位10政策）

第7次総合計画に掲げた43の政策に対し、現状の満足度について聞いた。「満足度」について「高い」及び「やや高い」と回答のあったものを「満足度」が高いと分類するとともに、「やや低い」及び「低い」と回答のあったものを「満足度」が低いと分類し、全ての回答に対する割合として示した。

「満足度」の高い政策は「⑳生活環境の保全」が42.0%で1位であり、次いで「⑨上下水道の整備」が40.1%で2位、「㉒消防・救急体制の充実」が37.6%で3位である。前回調査*と比較すると1位から3位まで順位が変わらなかった。

一方、「満足度」の低い政策は「④中心市街地の活性化」が55.2%で1位であり、次いで「⑭観光の振興」が49.1%で2位、「②商工業の振興」が44.8%で3位である。

なお、「⑲雪に強いまちづくりの推進」は前回調査において「満足度」の高い政策で5位であったが、今回調査において「満足度」の低い政策で4位となっている。

図表1 全体にみる「満足度」の高い政策及び「満足度」の低い政策

順位	「満足度」の高い政策	割合	順位	「満足度」の低い政策	割合
1位	⑳生活環境の保全	42.0%	1位	④中心市街地の活性化	55.2%
2位	⑨上下水道の整備	40.1%	2位	⑭観光の振興	49.1%
3位	㉒消防・救急体制の充実	37.6%	3位	②商工業の振興	44.8%
4位	㉓交通安全対策の充実	33.5%	4位	⑲雪に強いまちづくりの推進	40.8%
5位	㉔犯罪をおこさせないまちづくりの推進	30.6%	5位	⑫交通体系の充実	39.4%
6位	⑳学校教育の充実	30.4%	6位	⑤企業立地の促進	38.3%
7位	⑩公園・緑地の充実	28.7%	7位	⑮地域間・国際交流の推進	37.7%
8位	㉕地域医療体制の充実と健康づくりの推進	28.5%	8位	⑦魅力ある市街地等の形成	35.5%
9位	④⑩妊娠・出産・子育て支援の充実	27.1%		⑯移住・定住の促進	35.5%
10位	④⑪就学前教育・保育の充実	27.0%	10位	⑥雇用の安定	30.5%

前回調査*：令和元年度市民満足度調査をいう。

●「重要度」の高い政策

- ・基本目標ごとにみる「重要度」の高い政策

第7次総合計画に掲げた43の政策に対し、まちづくりの基本目標ごとに重要度の高い政策を聞いた。基本目標ごとの全ての回答に対する割合として示した。

「重要度」が高い政策は、基本目標1が「④中心市街地の活性化」、基本目標2が「⑩移住・定住の促進」、基本目標3が「⑱雪に強いまちづくりの推進」、基本目標4が「㉑持続可能な自治体経営の確立」、基本目標5が「⑳学校教育の充実」、基本目標6が「㉒妊娠・出産・子育て支援の充実」である。前回調査と比べて、基本目標1から基本目標5までは1位の政策が変わらなかったが、基本目標6の「㉒高齢者福祉の充実」は前回調査では1位で、今回調査では4位であった。

図表2 基本目標ごとにみる「重要度」の高い政策

＜まちづくりの基本目標1＞

魅力あふれる産業と経済活力のみなぎるまち

順位	「重要度」の高い政策	割合
1位	④中心市街地の活性化	28.0%
2位	②商工業の振興	20.8%
3位	⑤企業立地の促進	18.8%
4位	⑥雇用の安定	18.4%
5位	①農業・農村の振興	8.1%
6位	③地域ブランドの振興	5.9%

＜まちづくりの基本目標2＞

人をよびこむ都市空間と多彩な交流でにぎわうまち

順位	「重要度」の高い政策	割合
1位	⑩移住・定住の促進	31.6%
2位	⑦魅力ある市街地等の形成	17.0%
3位	⑫交通体系の充実	13.9%
4位	⑧道路ネットワークの充実	7.7%
	⑭観光の振興	7.7%
6位	⑩公園・緑地の充実	7.3%
7位	⑪住宅・宅地の充実	5.1%
8位	⑬地域情報化の推進	4.6%
9位	⑨上下水道の整備	4.2%
10位	⑮地域間・国際交流の推進	0.9%

＜まちづくりの基本目標3＞

未来にやさしい環境と安全安心に暮らせるまち

順位	「重要度」の高い政策	割合
1位	⑱雪に強いまちづくりの推進	30.7%
2位	㉑防災・危機管理体制の充実	17.1%
3位	⑳生活環境の保全	16.4%
4位	㉒犯罪をおこさないまちづくりの推進	13.2%
5位	⑰地球温暖化防止活動の推進	7.8%
6位	㉓交通安全対策の充実	6.1%
7位	㉒消防・救急体制の充実	4.9%
8位	⑩豊かな森の保全・活用	3.8%

＜まちづくりの基本目標4＞

市民と行政が協働して自治体経営を支えるまち

順位	「重要度」の高い政策	割合
1位	㉑持続可能な自治体経営の確立	57.6%
2位	㉕市民と行政との協働の推進	14.2%
3位	㉖男女共同参画社会の推進	11.3%
4位	㉗人権の尊重	8.8%
5位	㉘開かれた市政の推進	8.1%

<まちづくりの基本目標5>

人をすこやかにはぐくむ教育と歴史文化がいきづくまち

順位	「重要度」の高い政策	割合
1位	㊸学校教育の充実	59.5%
2位	㊹生涯にわたる学習活動の推進	10.7%
3位	㊺青少年の健全育成	9.8%
4位	㊻生涯スポーツの促進	8.7%
5位	㊼歴史遺産・文化財の保存と活用	6.0%
6位	㊽芸術・文化の振興	5.3%

<まちづくりの基本目標6>

心がやすらぐ健康とあたたかな福祉で支え合うまち

順位	「重要度」の高い政策	割合
1位	㊾妊娠・出産・子育て支援の充実	23.6%
2位	㊿社会保障の充実	20.0%
3位	㊽地域医療体制の充実と健康づくりの推進	18.0%
4位	㊿高齢者福祉の充実	15.6%
5位	㊽結婚支援の推進	9.6%
6位	㊿障害者及び障害児福祉の充実	6.5%
7位	㊽就学前教育・保育の充実	4.5%
8位	㊽地域ぐるみ福祉の推進	2.2%

○政策ごとにみる「重要度」と「満足度」との関係

重要度と満足度のそれぞれについて平均値 (0.0) からのばらつきを指数化し、重要度と満足度との関係を4分類化したものが図表3である。

この図表はCS（顧客満足度）ポートフォリオ分析とも呼ばれ、「満足度」と「重要度」からマッピングし「優先的改善項目」を把握する分析手法で、A：重点維持項目、B：重点改善項目、C：維持項目、D：改善項目を確認、評価するために幅広い分野で活用されている。重要度を横軸に、満足度を縦軸にし、市政の進むべき方向性を分析したものである。

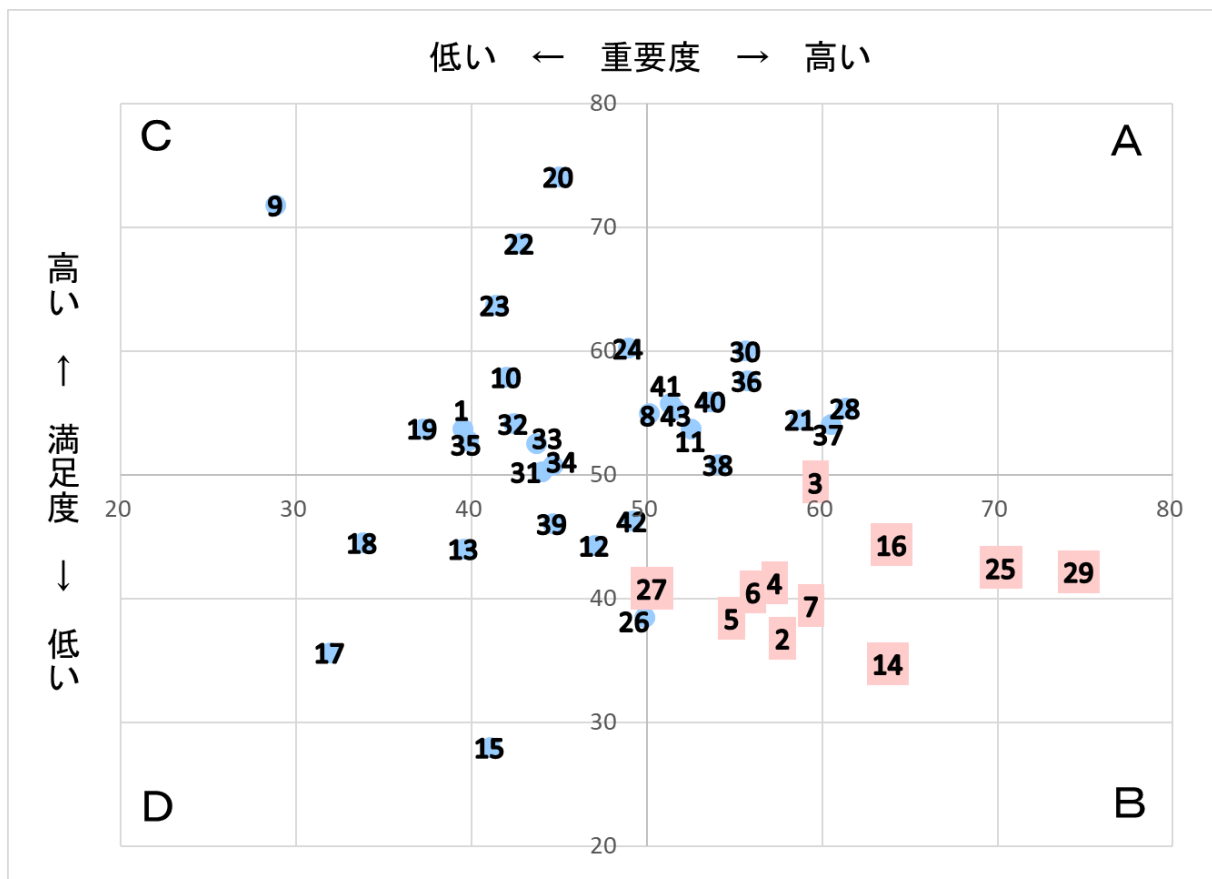
A：重点維持項目…重要度も満足度も高い項目。現時点での満足度の源泉と考えられ、引き続き満足度を下らないようにする必要がある。

B：重点改善項目…重要度が高いが満足度が低い項目。総合満足度を上げるために最優先で改善しなければならない。

C：維持項目…満足度は高いが、あまり総合評価に起因しない項目。現状を維持する。

D：改善項目…総合評価への影響は少ないが、満足度が低い項目。重点改善項目の次に改善を必要とする。

図表3 重要度と満足度の関係



4分類の中で最優先に対応すべき政策は、「B：重要度が高く、満足度が低い政策」である。具体的には、《産業・経済》分野では「②商工業の振興」、「③地域ブランドの振興」、「④中心市街地の活性化」、「⑤企業立地の促進」、「⑥雇用の安定」、《都市基盤整備・交流》分野では「⑦魅力ある市街地等の形成」、「⑭観光の振興」、「⑯移住・定住の促進」、《市民・行政協働の自治体経営》分野では「⑮市民と行政との協働の推進」、「⑰人権の尊重」、「⑲持続可能な自治体経営の確立」となっている。前回調査において、Bに分類されていた「⑫交通体系の充実」はDへ、「⑱雪に強いまちづくりの推進」はCへそれぞれ移行した。※ ◆印は前回調査と同様の分類となったもの。

A：重要度、満足度とも高い政策 11 施策	
⑧道路ネットワークの充実	⑪住宅・宅地の充実
◆⑫防災・危機管理体制の充実	⑳開かれた市政の推進
◆⑬学校教育の充実	◆⑳地域医療体制の充実と健康づくりの推進
◆⑭社会保障の充実	㉑地域ぐるみ福祉の推進
◆⑮妊娠・出産・子育て支援の充実	⑳就学前教育・保育の充実
◆⑯高齢者福祉の充実	

B：重要度が高く、満足度が低い政策 11 施策	
◆②商工業の振興	③地域ブランドの振興
◆④中心市街地の活性化	◆⑤企業立地の促進
◆⑥雇用の安定	◆⑦魅力ある市街地等の形成
⑭観光の振興	◆⑯移住・定住の促進
⑮市民と行政との協働の推進	⑰人権の尊重
◆⑲持続可能な自治体経営の確立	

C：重要度が低く、満足度が高い政策 13 施策	
◆①農業・農村の振興	◆⑨上下水道の整備
⑩公園・緑地の充実	⑱雪に強いまちづくりの推進
⑳生活環境の保全	◆㉒消防・救急体制の充実
◆㉓交通安全対策の充実	㉔犯罪をおこさないまちづくりの推進
◆㉕青少年の健全育成	◆㉖生涯にわたる学習活動の推進
◆㉗生涯スポーツの促進	◆㉘芸術・文化の振興
◆㉙歴史遺産・文化財の保存と活用	

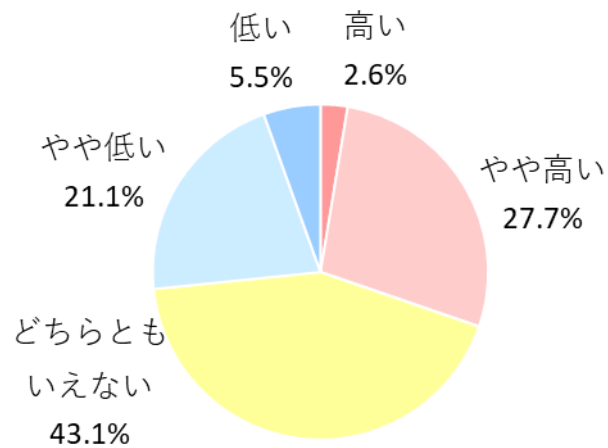
D：重要度、満足度とも低い政策 8 施策	
⑫交通体系の充実	◆⑬地域情報化の推進
◆⑰地域間・国際交流の推進	◆⑱地球温暖化防止活動の推進
◆⑲豊かな森の保全・活用	◆㉒男女共同参画社会の推進
◆㉓結婚支援の推進	㉔障害者及び障害児福祉の充実

○小矢部市に対する総合的な「満足度」について

小矢部市に対する総合的な「満足度」を全体で見ると、「高い」（「高い」、「やや高い」計）が30.3%を占め、一方、「低い」（「やや低い」、「低い」計）が26.6%を占める。また、「どちらともいえない」の割合が最も高く43.1%である。

前回調査と比べ、「高い」の割合が31.3%から30.3%に1.0ポイント減少し、「低い」の割合が26.1%から26.6%に0.5ポイント増加しているが、おおむね前回調査と同様の結果となった。

図表4 小矢部市に対する総合的な「満足度」

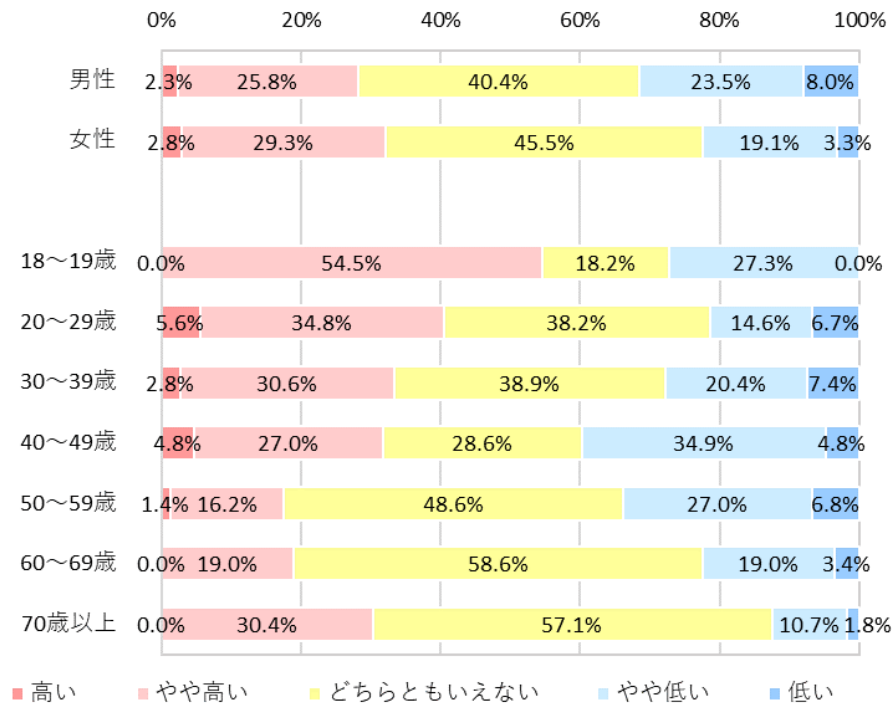


性別にみると、「高い」（「高い」、「やや高い」計）が男性は28.1%、女性は32.1%、「低い」（「やや低い」、「低い」計）が男性は31.5%、女性は22.4%、「どちらともいえない」が男性は40.4%、女性は45.5%である。前回調査と比べ、「低い」の割合が男性は25.1%から31.5%に6.4ポイント増加し、女性は26.4%から22.4%に4.0ポイント減少している。

年代別にみると、「高い」の割合は18～19歳が最も高く54.5%であり、年代が上がるに伴い「高い」の割合が低くなり、60～69歳で19.0%であるが、70歳以上で回復し、「高い」の割合が30.4%となり、前回調査と同様の傾向にある。

なお、前回調査と比べ、「高い」の割合は50～59歳が最も減少しており、27.8%から17.6%に10.2ポイント減少し、「低い」の割合は40～49歳が最も増加しており、27.9%から39.7%に11.8ポイント増加している。

図表5 属性別（性別・年代別）小矢部市に対する総合的な「満足度」



○新型コロナウイルス感染症の影響について

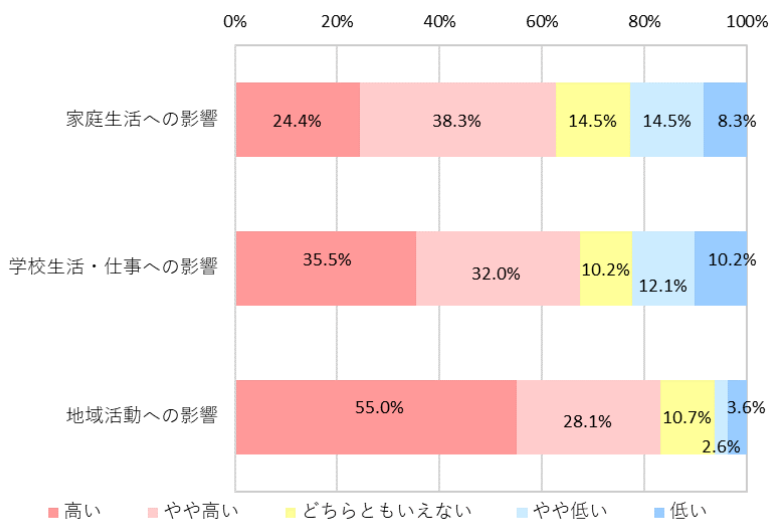
今回調査では、新型コロナウイルス感染症の影響について、「家庭生活」、「学校生活又は仕事」及び「地域での活動（祭り、町内会など）」に分類して聞いた。

「家庭生活」においては、影響が「ある」（「ある」、「ややある」計）が 62.7%であり、一方、「ない」（「ややない」、「ない」計）が 22.8%である。また、「どちらともいえない」の割合が 14.5%である。

「学校生活又は仕事」においては、影響が「ある」（「ある」、「ややある」計）が 67.5%であり、一方、「ない」（「ややない」、「ない」計）が 22.3%である。また、「どちらともいえない」の割合が 10.2%である。

「地域での活動（祭り、町内会など）」においては、影響が「ある」（「ある」、「ややある」計）が 83.1%であり、一方、「ない」（「ややない」、「ない」計）が 6.2%である。また、「どちらともいえない」の割合が 10.7%である。

図表6 新型コロナウイルス感染症の影響について



また、新型コロナウイルス感染症全般について意見・要望などを聞いたところ、回答者のうち、122人の方からいただいた122件の意見や要望を、次の10分類にまとめた。※ 重複等を除く。

1 ワクチン接種について

調査基準日前後の事業体制や進捗状況に関する意見・要望が多く寄せられましたが、結果公表が集団接種の完了とほぼ同時期となることから、掲載しておりません。ただし、いただいた全ての意見・要望については、今後のワクチン接種事業に活用させていただきます。

2 情報発信について

年齢	意見・要望
20～29歳	ネットで小矢部市や富山県のコロナ情報を知りたい。かかってしまった人を責めるような報道のやり方を変えた方がいいと思います。
20～29歳	感染が拡大しマスクや消毒液の不足などが起き、大変困った。買い占めなどが起きた時には、もっと早く行政に対応して欲しかったと思った。
20～29歳	地区、学校、園ごとなどどのような感染対策をとっているか公開したり、実際どのような補償、手当があるのか分かりやすく教えてほしい。マスクの着用について、園ごとで対応が異なるため、市で統一するなど。
30～39歳	プライバシー等の問題もあるが、感染者の居住地、感染経路、行動履歴（濃厚接触者含む）の公開を可能な限りお願いします。
40～49歳	小学校などで登録するメールではなく、市や市長のSNS（ツイッター）を作って発信してほしい。
40～49歳	新型コロナウイルス感染症に関する様々な偏見や差別が起きないように努めてほしい。
40～49歳	感染した方の人権の保護はわかるが何もかも非公開ではどう身を守れば良いのか疑問がある。ある程度の情報を出してもらわないといけないと思う。
40～49歳	小矢部市は感染者が少ない。良い事ではあるが、いざ、誰かが感染した時、皆が犯人探しをするように感染者探しをし、事情も知らないまま攻撃の対象となっている。その風土を何とかして欲しい。
50～59歳	国・県・市政に係わる方々の無責任言動やスクープ情報等に憤りと虚無感が募る。
50～59歳	新型コロナウイルス感染予防や、人混みに外出する時は必ずマスクを着用することなどこまめな発信をお願いします。
60～69歳	ワクチンについての情報があまりにもない。対応も遅すぎる。とにかく計画性が見えない。検討中ばかりで心底がっかりです。感染者が少ないかもしれませんが、もう少し市民への配慮があっても良いと思います。
60～69歳	市内で感染者が出た時には、市長からのメールでプライバシー保護という注意喚起が配信された事はとても良い事だと思う。メールを見て詮索する人は、絶対に少ないと思う。
70歳以上	小矢部からの感染情報や防止対策も回覧などでも良いので知らせてもらい、感染が収まるまで気長に続けることや市民への協力を要請したら良いと思います。市からの情報は今まで一切なかったと思いますが！

3 地域行事、イベントについて

年齢	意見・要望
20～29 歳	コロナウイルスが蔓延しているからといって全ての行事を中止するのではなくコロナ禍だからこそできる形を考え行ってほしい。
20～29 歳	イベント等、多人数が集まるものは中止した方がよい。小・中学校でスポーツ少年団、部活を行っているが、どこまで感染症対策をしているか分からないので不安。
30～39 歳	無駄な行事はこれを機に見直してほしい。
30～39 歳	祭りや行事の開催、中止の判断が難しい。市が地域ごとに調査を行い、開催・中止の是非を指導してほしい。
30～39 歳	学校の行事は親が参加してもいいのに、会社では、外食や外出を制限されるのか不思議である。学校行事は密だと思います。
30～39 歳	地区の運動会がなくなって助かる。学校の行事なども、コンパクトになり良いと思った。
40～49 歳	祭り、町内会は不要です。
40～49 歳	年齢や性別により意見が分かれる。祭りに子どもを出せと言われても、正直、まだ行かせたくはない。人が動かないとお金も回らないのは分かるが、まず学校行事ができるようにしてほしい。
40～49 歳	家庭においては、外出・外食が減った。県外への移動が減った。仕事では研修など、外へ出ることが減った。町内会なども祭りは行わないことになり、つながりが減った。
40～49 歳	地域活動が低迷していますが、いつになったら再開できるか指標を示してほしい。今まで以上に活発になってほしいです。

4 事業者支援について

年齢	意見・要望
20～29 歳	可能ならお店のトイレにペーパータオル設置
20～29 歳	緊急事態宣言の実施と解除の繰り返しにより、中小企業や個人が大ダメージを受けている。それらに対する補償や救済が早急に求められていると思う。また、いつ収まるか分からない状況の中、市民に元気をあたえる政策や市政を行なって欲しい。
20～29 歳	打撃を受けている事業者・経営者への支援。
30～39 歳	小矢部市から医療従事者への手当がほしい。ストレス発散方法はおいしいものを食べることだが、テイクアウトできるおいしいごはんの店が少ない。
40～49 歳	市内でコロナの影響を受けている職場支援の充実。

5 コロナ対策について

年齢	意見・要望
30～39 歳	公園などしか行くところがないため、体育館の開放など密にならない遊べるところの空間づくりをしてほしい。
30～39 歳	PCR 検査をもっと増やしてほしい。大手企業には大人数で集まることがないようにポスターなどで警告・忠告をしてほしい。
50～59 歳	県外に住む子どもが、小矢部に住む高齢の親の、身の回りの世話や家の手入れに頻繁に行けなくなったと言っていた。そういう時に市として何か良い策を出してあれば良かったかなと思った。

6 仕事関係について

年齢	意見・要望
18～19 歳	感染症対策に従事している職員の体調や精神面は大丈夫ですか？多忙ではないのか？
30～39 歳	市役所の職員の方々も対応に追われ大変だと思います。お身体大事になさって下さい。
50～59 歳	自分が県外出張するとしばらく親が介護施設を利用できなくなるため、出張を断らざるを得なくなり、仕事に支障をきたしている。介護認定を受けても、思うように施設が利用できず、不便さを感じている。

7 子育て・教育について

年齢	意見・要望
20～29 歳	仕事が内定取り消しとなった。緊急事態宣言の発令でこども園が休みになり、1人での育児が辛かった。コロナで外出が難しく、子どもが屋外で見ることや体験することが少なくなっていると思う。
30～39 歳	仕事が忙しくなった上に学校が休みとなり、子どもの預け先がない。子どもには自宅で1人で過ごしてもらうしかなく、子どもは外へも1年間出られなくなり、学校行事にも参加できなくなった。
40～49 歳	集合での未満児の健診やフッ素塗布がなくなり、個人で病院を予約する方法となった。これまで市の施設で受けていた丁寧なサービスを受けられずとても残念。一度に集める人数を少なくするなど、子どもに優しい対応をお願いしたい。
40～49 歳	公立こども園内の子育て支援センターが新しく2箇所開設されて、ありがたく思っているが、コロナ感染症対策として制限が厳しすぎる。話ができる親仲間も出来づらいし、何より子ども同士の関わりがなく残念である。ただでさえ、塞ぎ込みがちになる産後なのに、この状況では影響が大きい人も多々いると思う。

8 医療関係について

年齢	意見・要望
40～49 歳	口のケアをすることで感染を予防したり重症化リスクを下げるができるので歯科衛生・医療に力を入れることが重要。
50～59 歳	小矢部市内全体の医療の連携がもっと必要だと思います。
60～69 歳	入院の際、面会が出来ない。本人も家族もかわいそう。

9 生活困窮者支援について

年齢	意見・要望
20～29 歳	家庭収入が減少した。市からの補助金があればありがたい。

10 その他

年齢	意見・要望
60～69 歳	コロナ感染者が他の地域に比べ少数だと思うので、このまま存続出来ることを願う。

○市への意見・要望など

今回の調査において、回答者のうち、130 人の方からいただいた 196 件の意見や要望を、次の 13 分類にまとめた。※ 重複等を除く。

1 市政全般について

居住地区	年齢	意見・要望
石動	18～19 歳	最低でも今の生活ができる市であって欲しいです。
荒川	20～29 歳	市が、実際になにをどうしているのかが市民に不透明で、理解できない。情報をもっとオープンにして市が取り組んでいることをアピールして欲しい。
津沢	20～29 歳	魅力があまり感じられない。
石動	30～39 歳	縄文イベントや婚活など市でいろんな取り組みがされていて良いと思う。
石動	30～39 歳	今後、更に高齢化が進んで行く中で、持続可能な政策を実現して頂きたい。
埴生	40～49 歳	小・中学校統合など、限られた財源の中で、未来ある子どもたちに、素晴らしい小矢部を残せるよう、大胆な改革をしてほしい。
藪波	40～49 歳	小矢部市は何でも他の市町村の様子を伺ってばかりで、何を決めるのも遅いですよね？いつも小矢部市は「検討中」ばかり。なぜですか？
若林	50～59 歳	若い女性が大学を卒業して小矢部市に帰ってこれるような政策を進めて欲しい。第一は雇用と賃金の確保。第二は市内に定住したくなる支援制度。第三は子育て対策の充実。人口 3 万人を確保しつづけられる政策をお願いします。

2 商業施設、市街地活性化について

居住地区	年齢	意見・要望
松沢	20～29 歳	コンビニや薬局、レンタルショップなどを増やしてほしい。
若林	20～29 歳	娯楽施設を増やしてほしい。
津沢	20～29 歳	小矢部が活性化すると他の市や県からも人が来るが、不便なところでは人が出ていく。石動地区だけでなく他の地区も活性化してほしい。
石動	30～39 歳	駅前の商店街が空洞化して、ほぼゴーストタウンのようになっている。やる気のある人に、お試しのような感じで格安で貸せるような仕組みを作ってはどうか。
埴生	30～39 歳	飲食チェーン店が少ない。午後 8 時以降ほとんどお店が開いていない。
埴生	30～39 歳	もともとある小矢部の魅力を大事にしてほしい。農業や林業を大切にしたい。昔からある伝統を大切にしたい。歴史的な重要地区の保護と保全を進めて自然豊かで魅力あるまちづくりをしてほしい。
埴生	30～39 歳	品揃えの多い大型店の本屋を作してほしい。
松沢	30～39 歳	津沢地区でもレンタルサイクルを借りられるようになれば良いと思った。
荒川	30～39 歳	次々とお風呂がなくなって行って、残念です。クロスランドの温泉・道の駅の足湯、また復活してほしいです。
石動	40～49 歳	街なかの飲食店を利用したら無料となる駐車場を街なかに作ってはどうか。
松沢	40～49 歳	駅周辺の活性化。飲食店の推進。

石動	50～59 歳	気楽に入れるカフェが少なくなり、そういう場を増やしてほしいです。
石動	70 歳以上	街なかが年々寂しく、廃れています。石動はお寺の町で多くのお寺があります。お寺の紹介や寺めぐりツアーなどを企画されて、まずは街なかの活性化を期待したいです。
津沢	70 歳以上	地域においては近くに店もなく、買い物にもいけない買い物弱者の人がたくさんいます。最近はいろいろサービスがあり、昔と比べると便利にはなっているようですが、地元には大きなスーパーがあればみなさん便利になるのではないかなと切に思っております。
水島	70 歳以上	高齢者の行動範囲を広げるために、広域で使える入浴券を考えてはどうでしょうか！現在運行中の市バス路線に組み込み、それぞれの自治体の買い物に可能な特典を付けたり、経済の活性化にも役立つかと思いますが。今後ますます増えていく高齢者の活性化も見込めると思います。

3 企業誘致、雇用対策について

居住地区	年齢	意見・要望
石動	20～29 歳	中小企業が増えるとUターンに良いかも知れませんが。
藪波	20～29 歳	農業の PR も大事ですがそれだけでは限界があると思います。農業以外の企業にもスポットをあてて、働くこと（人）のモチベーションアップや、学生が地元に残る・帰ってくるような企画があればいいかと思ます。
津沢	30～39 歳	企業誘致と高等教育の誘致
藪波	50～59 歳	企業、工場を平地に誘致し、雇用を増やす。
荒川	70 歳以上	市に企業が少ない。積極的に企業誘致に力を入れ人口増加、活力ある伸びゆく明るい小矢部市に。

4 道路・上下水道など都市基盤の整備について

居住地区	年齢	意見・要望
若林	18～19 歳	駅前駐車場を増やしてほしい。
石動	20～29 歳	道路の道路標識が消えかかっているところがいくつかあり、はじめて来た時に不便だと感じ恐かった。道路が暗い。道路がガタガタの道が多い。
石動	20～29 歳	市役所前からコンビニへの交差点について、いつも交通量が多いのに片側一車線で歩道はガタガタ。歩いている、自転車でも、車で通っても、いつも危ないところだと思います。車線を増やしたり、せめて歩道の整備をしてほしいです。
埴生	20～29 歳	駅の駐車場を無料にしてほしいです。
水島	20～29 歳	街灯の増設を希望します。
石動	30～39 歳	他の市町村と比べて子どもが遊べるような施設が少なく、子どもと出かける時は市外になることが多い。なので、子どもが遊べる場所（屋内）があると良いと思う。クロスランドも良い遊び場ではあるけれども、雨や雪が降ると遊べなくなるので、屋内の広い遊び場をつくってほしい。
石動	30～39 歳	街なかに公園がほとんどありません。石動地区にも子ども達が安心して遊べる広場の設置もしくは勤労青少年ホーム跡地の整備をお願いします。災害があった場合の避難所としても公園は必要だと思います。
埴生	30～39 歳	水道代が高くて驚いた。県外に住んでいたが、倍になった。どうしてこんなに高いのか。

埴生	30～39 歳	大雪になると小矢部市内はすぐ通行止めになるので、市長が先頭きって、もっと早く行動してほしい。さらに除雪作業できる技術者を増やして保障もしっかりして安定して生活できるよう支援してほしい。融雪道路を拡大してほしい。
松沢	40～49 歳	通学路に歩道がなかったり、街灯が少ないので県・市道の道路整備を早めに進めてほしい。大雪の時の除雪車の出動について見直してほしい。
藪波	40～49 歳	毎冬思うことですが、小矢部市内の除雪はもっときれいにできませんか？どこも道幅が狭く普段は車がすれ違う大きな道路も1.5車線しかありません。道もものすごくガタガタで、本当に怖いです。市外では、狭い市道もとてもきれいに除雪されています。市外の人、小矢部は除雪がひどいと必ず言われます。
藪波	50～59 歳	宅地造成を増やし、平地に住宅を増やす。その周辺の道路、上下水道を整備する。

5 公共交通について

居住地区	年齢	意見・要望
若林	18～19 歳	市バスが電車の時刻と合っていないので時刻をずらすか本数を増やしてほしい。
石動	20～29 歳	電車の本数が少なすぎて車がない間は何をするにも大変。
荒川	20～29 歳	市内バスについて、本数が少ない。
荒川	20～29 歳	福岡駅と石動駅の間に駅があると助かる。
埴生	30～39 歳	バスに乗っている人がいない。タクシーなど個人的な送迎にしてはどうか。バスの送迎を学生に配慮した時間にしてほしい。
津沢	30～39 歳	交通の便が悪いため、高齢者になると交通弱者となる。日常生活を送る際不便。
石動	40～49 歳	交通の便が悪い。老後は利便性の良い市へ行く計画がある。車に乗れなくなったら生活出来ない。

6 観光について

居住地区	年齢	意見・要望
石動	30～39 歳	メルギューくんというマスコットがいて良いと思う。グッズもたくさんあってかわいいが値段が高い。
石動	30～39 歳	大河ドラマ（木曾義仲）の誘致は必要ありません。
石動	40～49 歳	メルヘン建造物の観光地をメインとしてもっとアピールをした方がもっと小矢部市が盛り上がると思う

7 移住・定住、少子化対策について

居住地区	年齢	意見・要望
石動	20～29 歳	県外から引越しをしてきました。新婚であり、小矢部市に住んだことがなかったので、市の「賃貸住宅家賃補助金」という助成を受けています。令和4年4月以降は廃止ということですが、新婚世帯（特に20代）には嬉しい事業だと思うので、是非続けてほしいです。私たち夫婦は助成金も含め小矢部市が良いなと思い住み始めました。
埴生	20～29 歳	婚活など出会いを作る行事を行ってほしい。

藪波	20～29 歳	結婚から出産と市からとても手厚い支援をいただきとても助かってます。今後、少子化はますますひどくなると思います。人口を増やすためのPR等を期待します。
埴生	30～39 歳	空き家のレンタルや企業に貸し出しなどで空き家や空き地を有効に活用してほしい。新しく家を建てるばかりでなく空き家の活用者にも補助してほしい。空き家のリフォームなどの補助もしてほしい。
津沢	30～39 歳	転入者や新婚への補助ばかり手厚く、すでに住んでいる者に対しては少ないと感じていました。転入者を一生懸命に呼び込もうとしていますが、転出する理由をもう少し掘り下げたほうがいいのでは？すでにいる市民のことを考え、長く住み続けてもらえるような施策がほしいです。
埴生	50～59 歳	企業誘致等による雇用の創出と働く人の定住を市民全員が意識する必要があると思う。

8 環境、安全・安心について

居住地区	年齢	意見・要望
南谷	20～29 歳	駅でのスケボー禁止。道の駅のドッグランについて、マナーの悪い人や他地域の方々であふれてきました。マナーの悪い人も多く、入場料金を取るようになって良いと思います。
若林	30～39 歳	引っ越してきて、ごみ収集について、ゴミ袋に世帯主の名前を書くことに疑問を感じる。プラスチックごみの収集が月1回という頻度は少なすぎる。せめて週1回もしくは2週間に1回が望ましい。ダンボール等の収集が半年に1回というもの少なすぎる。
松沢	50～59 歳	災害が起きた時の対策はどうなっているのか？自分一人だけでは老いた両親を避難させられるのか不安がある。近所にはそういう方々ばかりだと思う。空き家・空き地について、年々土地家屋等の管理が大変になっている。こんな事を思うのは自分だけではないと思う。
子撫	50～59 歳	国道にゴミの落下が多いです。ゴミを落とさないようこまめな発信をお願いします。脇見やケータイを見ながらなど、自転車の運転のマナーが悪いので注意の呼び掛けをお願いします。
正得	70 歳以上	家の周辺は緑や木が多く夏は涼しく快適です。しかし近年来、伐採した木や落ち葉の焼却等一切認められず苦慮して久しいです。この状態が続くようなら、庭木を切る人が増加し、小矢部から緑が消え自然がなくなります。無駄な油を使い焼却するよりも、自家焼却できる物、できない物等の分類をする時ではないでしょうか？
北蟹谷	70 歳以上	家にある不用品（食品・衣類など）でまだ使える物が沢山あります。それらを有効に利用できる場所があったらいいなと思います。

9 行政、協働について

居住地区	年齢	意見・要望
石動	18～19 歳	祭りの開催を求む。市への若者の関心が低い→情報が若者まで届いていないから、何をしているか分かりにくい。
石動	20～29 歳	若い方は市報もあまり見ませんので、ホームページをもっと充実させる必要があるかと思っています。一人一台スマホの時代なので、より簡単にスピーディーに情報にアクセスできるシステムがあればいいなと思います。
石動	20～29 歳	お祭りなどの行事が早く開催されるようになればいいなと思う。
埴生	20～29 歳	町内の行事や清掃、消防団などの活動は、少し面倒ではありますがやはり必要です。新しい人を呼び込むために、市や地域の活動に参加する事

		によるメリットがあるといいかなと思います。例えば、少しの減税や小矢部市で使用できる仮想通貨の配布など。
松沢	20～29 歳	議員を減らすことはできませんか？今の時代でしたら、もっと SNS 等も利用して市民の意見を聞くことはできると思います。税金もとても高いですし、コストを削減できるところは削減してほしいです。
正得	20～29 歳	市長さんをはじめ、市の職員の方たちは、大変熱心に、行政のお仕事をしてくださっているとありがたく思っております。ただ、やはり地域は、男社会であり、年配の役員の方たちが仕切っているため、若い人や女性の意見が通りにくい、問題を上げて聞いてもらえないことが多々あるのが現状です。
荒川	20～29 歳	市役所で、高圧的な態度の職員も少しおり、市民は手続きにも慣れていないので、もう少し丁寧かつ市民に寄り添った対応してほしい。
石動	30～39 歳	マイナンバーカードの利用できる幅を広げてほしい。住民票などがコンビニで取得できるようになってほしい。
南谷	30～39 歳	ふるさと納税の返礼品を見たが、自分も欲しくなるもので良いと思う。もっと評価されるべきだと思うので、アピールや広告が必要だと思う。
若林	30～39 歳	地域の集まり、イベント等どんどん減らして行って欲しいです。
荒川	60～69 歳	若者の発想力に期待したい。
南谷	70 歳以上	建築のタイミングに重なったのだと思うが、最近箱物の建築が多すぎるのではないかな。市の財源で今後の維持費・管理費が可能なか不安に思う。

10 子育て・教育について

居住地区	年齢	意見・要望
石動	20～29 歳	市の人口を増やしたいなら、子育て世代へお金を使って呼び込むべきだと思います。市の平均年齢も上がり、若者が減っていくのは20代の子育て中の女性としてはため息の出るほど辛いことです。2人目を産みたいとは全く思いません。市民のために頑張ってください。
石動	20～29 歳	使用禁止の公園をよく見かけるのですが、子どもが安心して遊べる場所をもっと増やすべきではないでしょうか。
石動	30～39 歳	小中学校の行事が多すぎる。振替休日のたびに子どもの予定に合わせて保護者が都合つける。もっと少なくてもいいし、平日にできることはやってほしい。
石動	30～39 歳	東部小学校と石動小学校の統合について、東部小学校では現在1ケタ人数の学年もあり、少人数クラスよりも普通の一般的な人数のクラスで普通の小学校の経験を子どもにはさせてあげたいと心より考えています。東部小学校区に住む子どもを持つ親の意見を第一に考えてはいただけないでしょうか？
埴生	30～39 歳	小学校について、統合しないでほしいです。今でも正直少なめだと感じてしまうので…。子どもの人数が少ないのは分かりますが、小さい子が通うには近ければ近いほど良いと思います。家や土地をさがす際、学校に近いというのは重要なポイントになるはずで。若い世代が住んでくれるようになるためには統合しない方がいいのではと思います。
埴生	30～39 歳	県外から引っ越してきましたが、小矢部は住みやすいです。それは「場所が良い」の一言につきます。大事なのはまちづくり、教育だと思います。各町内の大きな声だけで進めるまちづくりではなく、長期的な目標をもった町を形成してほしいです。
荒川	30～39 歳	子育て世代への支援を増やしてほしいです。

荒川	30～39 歳	こども園に入所できないという友人がいました。移住・定住を促進するのであれば、いつでも受け入れられる体制をとるべき。さらに、こども園でご飯のみ持参する意味があるのでしょうか？今の時代に合わせて廃止を検討してください。
津沢	30～39 歳	お金がかかる子育てに対しての支援、現役世代（主に 20 代～40 代の子育て世代及び子育て準備をしている世代）が住みやすい環境づくりをお願いします。
藪波	30～39 歳	市外へ出ないとほしい物が買えない。子育て世代ですが、不便だなと感じている。子育て世代が住みたいと思えるような施設・お店が充実すれば良いと思っている。
藪波	30～39 歳	子どもが遊べる公園などが少ない
東蟹谷	30～39 歳	公立小中学校の早期統廃合。2 小学校、1 中学校へ統廃合し、少人数学級（20～30 人）の実現、部活動の選択の余地を残す。
北蟹谷	40～49 歳	タブレット授業がうまく活用できていない。 障害のある子どもできるだけ支援学級に入れてあげてほしい。
北蟹谷	40～49 歳	高齢者よりも、子ども達のためのまちづくりをしてほしい。自分の子どもも含めて、子ども達が、ずっと小矢部市に住み続けたいと思うか？思わないと思います。
埴生	70 歳以上	教育環境の整備（小中一貫校の推進）

11 生涯学習、スポーツ、歴史・芸術文化について

居住地区	年齢	意見・要望
埴生	18～19 歳	ホッケーの指導者が欲しいです。新入部員も減少しているようです。廃れさせないためにも、十分な練習環境を整えてあげてほしいなと思っています。
若林	18～19 歳	駅前の図書館の冊数を増やしてほしい。
石動	20～29 歳	新しくできた図書館をよく利用しています。本は多いし、キレイだしとても良いと思いますが、ガラス張りなので本がすぐに傷みそうだなと心配です。
石動	30～39 歳	市民プールをきれいにして欲しいという意見を子ども達からよく耳にします。
東蟹谷	30～39 歳	休日に屋内で遊べる所を作してほしいです。
埴生	40～49 歳	市の施設は開館時間が遅過ぎ閉館時間が早過ぎである。これでは、一般のサラリーマンは利用できるわけがない、時間はなんとかならないでしょうか。
東蟹谷	40～49 歳	小矢部市の良い所を、住み良いところをそのままにしてほしいし、ホッケーの町として PR もしてもらいたい。
埴生	50～59 歳	石動駅に図書館ができて、駐車場が 1 時間無料というのはありがたい。継続してもらいたい。
北蟹谷	50～59 歳	クロスランド等を中心として、市内で、楽しいイベントを、市内の若者が中心になって企画運営して、市外の人にも多く集まってもらい、活力を上げていくことが大事！！
藪波	60～69 歳	子ども達にこそ、身体を使ってスポーツを感じてほしいです。人数制限によるスポーツ種類の選択が出来ず、身の丈に合わない運動をせざるを得ないのは、まことに残念です。どうか、再び立ちあがる不屈の子ども達を応援してあげて下さい。

12 地域医療、福祉について

居住地区	年齢	意見・要望
石動	20～29 歳	小矢部市で出産できる産婦人科があると助かる。
荒川	20～29 歳	不妊治療の助成金について、仕事の関係で市内と市外に夫婦が分かれて住んでいる場合、他の市町村なら助成金が出るのに、小矢部市は出ない。他の市町村と合わせてほしい。
石動	30～39 歳	精神疾患の人やひとり親の人がもっと生活しやすい、相談しやすい場や援助があればよいと思います。
埴生	30～39 歳	訪問診療、訪問看護、ヘルパー、リハビリ等の充実を図っていくべき。病院に入院し家に帰りたくても在宅医療が充実しておらず帰れない患者がたくさんいる。
松沢	30～39 歳	医療的ケア児を受け入れてくださる保育園を整備してほしい。
松沢	30～39 歳	不妊治療の助成金が、一般不妊治療から出るのがとても有難いです！ただ、助成金の対象だと知らずに検査にかかった治療費を申請しそびれたので、もっといろいろな所で助成金があることを周知してもらえると良いなと思います！
東蟹谷	30～39 歳	今、必要とされているのは急性期医療や救急医療ではなく、「いつでも・長く高齢者をあずかってくれる病院」と思われる。療養型病床を含めた長期入院施設を整備した方が、在宅医療や介護サービスを利用するよりもニーズがあると考えます。
石動	40～49 歳	妊娠・出産に関して、産婦人科の開設があると心強い。出産のお祝いの充実。出産後子どもにかかるお金を考えるとお祝い金や商品券のほうが助かるし、2人目・3人目と出産を考える気持ちが出る。
埴生	40～49 歳	身体に障害がある方がもう少し外で活動しやすい街になってくれたらありがたいです。多目的トイレの普及やバリアフリーの建物など。
荒川	40～49 歳	毎年、集団がん検診を受けています。いつも、受付から終了まで、流れがスムーズで、職員の方たちも、皆さん親切なので、気持ちよく参加させていただいています。
北蟹谷	40～49 歳	老人施設に入りにくい。申し込んでも料金も高いし、どんな病気があっても受け入れてほしい。

13 その他

居住地区	年齢	意見・要望
石動	50～59 歳	勤務先が市外であるためか市政に係わる時間が少なくアンケートに対して自分の持つ情報が少なすぎると感じております。地元で働く方々との情報量のちがいや、温度差は常々感じているところです。

Ⅲ 使用した調査票

調 査 票

I. あなたご自身のことについてお尋ねします。

それぞれの項目ごとに、該当する番号を1つ選んで○を付けてください。

問1-1 あなたの性別

1. 男性 2. 女性

問1-2 あなたの居住地区

1. 石動地区 2. 南谷地区 3. 埴生地区 4. 松沢地区
5. 正得地区 6. 荒川地区 7. 子撫地区 8. 宮島地区
9. 北蟹谷地区 10. 若林地区 11. 津沢地区 12. 水島地区
13. 藪波地区 14. 東蟹谷地区

問1-3 あなたの年齢（令和3年7月1日現在）

1. 18～19歳 2. 20～29歳 3. 30～39歳 4. 40～49歳
5. 50～59歳 6. 60～69歳 7. 70歳以上

問1-4 あなたの主な職業

1. 農林漁業 2. 自営業（農林漁業以外） 3. 会社員 4. 団体職員
5. 会社・団体役員 6. 公務員 7. パート・アルバイト 8. 専業主婦（夫）
9. 学生 10. 無職 11. その他（具体的に： ）

問1-5 現在の世帯構成

1. 単身世帯（ひとり暮らし） 2. 一世帯世帯（夫婦のみ） 3. 二世帯世帯（親と同居）
4. 二世帯世帯（子と同居） 5. 三世帯以上世帯（親と子と孫など）
6. その他（ ）

問1-6 小矢部市にお住まいになってから通算で何年になりますか。

1. 5年未満 2. 5～9年 3. 10～19年 4. 20～29年
5. 30年以上

問1-7 小矢部市以外にお住まいの経験はありますか。

1. ある 2. ない

問1-8 あなたの通勤・通学先

1. 小矢部市内 2. 高岡市 3. 砺波市 4. 南砺市
5. 射水市 6. 氷見市 7. 富山市 8. その他富山県内
9. 金沢市 10. 津幡町 11. その他富山県外 12. 通勤も通学もしていない

II. 次の評価事項について、小矢部市政の「現在の満足度」と「今後の重要度」についてお尋ねします。

問2 小矢部市では6つのまちづくりの基本目標ごとに「政策」を設定して総合計画を推進しています。以下の項目それぞれについて、右の欄の1～5の中からあなたの「満足度」に最も近いものを1つ選んで○を付けてください。

＜まちづくりの基本目標 1 魅力あふれる産業と経済活力のみなざるまち＞

番号	政策	主な施策	現在の満足度				
			高い	やや高い	どちらともいえない	やや低い	低い
1	農業・農村の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・農村環境保全の推進 ・農業経営の安定化 ・付加価値を高める農林水産業の推進 ・農業農村基盤の整備 ・地産地消の推進 	1	2	3	4	5
2	商工業の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・市内商工業の活性化 ・地場産業の育成 ・買い物弱者*対策の推進 ・経営改善の支援 	1	2	3	4	5
3	地域ブランドの振興	<ul style="list-style-type: none"> ・小矢部ブランドの活用拡大 ・稲葉山牧野の経営安定化 	1	2	3	4	5
4	中心市街地の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・都市機能の誘導 ・誘客による賑わい創出 ・まちなか定住の促進 ・石動駅北エリア整備の促進 	1	2	3	4	5
5	企業立地の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・誘致基盤の整備 ・誘致活動の推進 ・企業立地支援制度の充実 ・創業者支援の推進 	1	2	3	4	5
6	雇用の安定	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用環境の向上 ・雇用の促進、就労への支援 ・勤労者福祉の向上 	1	2	3	4	5

問2-1 上記の政策 1～6 のうち、今後「重要度」が高いと思うものを1つだけ選んで右の枠内に番号を記入してください。

答2-1

*買い物弱者：地元小売業の廃業や既存商店街の衰退、交通網の弱体化などの理由により、食料品などの日常の買物が困難な状態に置かれている人のこと。

＜まちづくりの基本目標 2 人をよびこむ都市空間と多彩な交流でにぎわうまち＞

番号	政策	主な施策	現在の満足度				
			高い	やや高い	どちらともいえない	やや低い	低い
7	魅力ある市街地等の形成	<ul style="list-style-type: none"> 市街地整備の推進 美しい景観の創出 都市機能を支える都市軸の形成 総合的な土地利用施策の推進 	1	2	3	4	5
8	道路ネットワークの充実	<ul style="list-style-type: none"> 高規格道路、国道及び県道等の整備促進 市道の整備推進 	1	2	3	4	5
9	上下水道の整備	<ul style="list-style-type: none"> 安定した水道水の供給 下水道事業・浄化槽設置事業の計画的な推進 	1	2	3	4	5
10	公園・緑地の充実	<ul style="list-style-type: none"> 親しみのある公園づくりの推進 公園・緑地の整備・管理の充実 	1	2	3	4	5
11	住宅・宅地の充実	<ul style="list-style-type: none"> 住宅施策の充実 良好な住環境づくり 市営賃貸住宅の充実 	1	2	3	4	5
12	交通体系の充実	<ul style="list-style-type: none"> 鉄道利用の利便性の向上 市営バス等運行体制の維持・充実 その他の交通サービスの充実 	1	2	3	4	5
13	地域情報化の推進	<ul style="list-style-type: none"> 情報ネットワーク基盤の整備 情報ネットワークの活用 ケーブルテレビ*事業の推進 	1	2	3	4	5
14	観光の振興	<ul style="list-style-type: none"> 観光資源の整備・活用 観光受入態勢の充実 観光誘客・PRの充実 	1	2	3	4	5
15	地域間・国際交流の推進	<ul style="list-style-type: none"> 地域間交流の促進 国際交流の推進 多文化共生の推進 	1	2	3	4	5
16	移住・定住の促進	<ul style="list-style-type: none"> U I J ターン*の促進 地域における受入体制の確立 おやべ暮らしの魅力発信と情報提供 地域おこし協力隊の受入推進 	1	2	3	4	5

問2-2 上記の政策 7～16 のうち、今後「重要度」が高いと思うものを1つだけ選んで右の枠内に番号を記入してください。

答2-2

*ケーブルテレビ：有線テレビ放送（CATV）のこと。多チャンネル・双方向機能を有し、自主放送やインターネット接続などのサービス提供が可能である。

*U I J ターン：大都市圏の居住者が地方に移住する動きの総称のこと。Uターンは出身地に戻る形態、Iターンは出身地以外の地方へ移住する形態、Jターンは出身地の近くの地方都市に移住する形態を指す。

＜まちづくりの基本目標 3 未来にやさしい環境と安全安心に暮らせるまち＞

番号	政策	主な施策	現在の満足度				
			高い	やや高い	どちらともいえない	やや低い	低い
17	地球温暖化防止活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境の保全 ・温室効果ガス*排出量の削減 ・エネルギーの有効活用 	1	2	3	4	5
18	豊かな森の保全・活用	<ul style="list-style-type: none"> ・森林資源の適正な管理 ・森林資源の育成・活用 ・治山対策 ・生態系の保護 	1	2	3	4	5
19	雪に強いまちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・道路除排雪の充実 ・消雪施設の整備 ・地域ぐるみの除排雪体制の充実 	1	2	3	4	5
20	生活環境の保全	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの収集・処理体制の充実 ・循環型まちづくり*の推進 ・環境衛生と美化推進 ・公害の防止対策の推進 	1	2	3	4	5
21	防災・危機管理体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・防災体制の充実 ・防災施設の充実 ・災害に強いまちづくり ・危機管理体制の充実 	1	2	3	4	5
22	消防・救急体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・消防・救急関連施設・設備の充実 ・消防力の充実・強化 ・火災予防の推進 ・救急・救命体制の強化 	1	2	3	4	5
23	交通安全対策の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全活動の充実 ・交通安全施設の充実 	1	2	3	4	5
24	犯罪をおこさせないまちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・安全なまちづくり推進センターの充実 ・防犯意識の高揚 ・犯罪の防止 ・消費生活の安全の確保 	1	2	3	4	5

問2-3 上記の政策 17～24のうち、今後「重要度」が高いと思うものを1つだけ選んで右の枠内に番号を記入してください。

答2-3

*温室効果ガス：大気圏にあって、地表から放射された赤外線の一部を吸収することにより、温室効果をもたらす気体の総称。対流圏オゾン、二酸化炭素、メタンなどが該当する。近年、大気中の濃度を増しているものもあり、地球温暖化の主な原因とされている。

*循環型まちづくり：大量生産・大量消費・大量廃棄型の社会に代わり、製品の再生利用や再資源化などを進めて新たな資源投入を抑え、廃棄物ゼロを目指すまちづくり。

＜まちづくりの基本目標 4 市民と行政が協働して自治体経営を支えるまち＞

番号	政策	主な施策	現在の満足度				
			高い	やや高い	どちらともいえない	やや低い	低い
25	市民と行政との協働の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・市政への参画機会の拡大 ・市民活動の促進 ・協働を推進する環境の整備 ・コミュニティ活動の促進 	1	2	3	4	5
26	男女共同参画社会の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・男女平等意識啓発の推進 ・男女共同参画推進体制の充実 ・ワーク・ライフ・バランス*の推進 	1	2	3	4	5
27	人権の尊重	<ul style="list-style-type: none"> ・人権教育・啓発の推進 ・相談体制の充実 ・人権擁護対策の強化 	1	2	3	4	5
28	開かれた市政の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・広報・広聴の充実 ・情報公開の推進 	1	2	3	4	5
29	持続可能な自治体経営の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・市民サービスの向上 ・効率的かつ透明性のある行財政経営の推進 ・職員の資質向上と組織の活性化 ・広域行政・事業連携の推進 ・納税環境の充実 ・公共施設等の適正な配置と効率的な維持管理の実施 	1	2	3	4	5

問2-4 上記の政策 25～29のうち、今後「重要度」が高いと思うものを1つだけ選んで右の枠内に番号を記入してください。

答2-4

*ワーク・ライフ・バランス：やりがいのある仕事と充実した私生活を両立させるという考え方。仕事と生活の調和。

＜まちづくりの基本目標 5 人をすこやかにはぐくむ教育と歴史文化がいきづくまち＞

番号	政策	主な施策	現在の満足度				
			高い	やや高い	どちらともいえない	やや低い	低い
30	学校教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・確かな学力を育む教育の推進 ・健やかな心身を育む教育の推進 ・多様なニーズに応える教職員の育成 ・安全安心な学校づくりと学校教育環境の整備 ・小中学校規模適正化の検討と対応 ・高等学校との連携推進 	1	2	3	4	5
31	青少年の健全育成	<ul style="list-style-type: none"> ・健全な育成環境の整備 ・青少年活動の充実 ・家庭教育の拡充 	1	2	3	4	5
32	生涯にわたる学習活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習推進体制の充実 ・公民館を拠点とした地域の学習活動の充実 ・生涯学習活動内容の充実 ・生涯学習環境の充実 	1	2	3	4	5
33	生涯スポーツの促進	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯スポーツ活動の充実 ・生涯スポーツ施設の充実 ・指導者の育成と指導体制の充実 	1	2	3	4	5
34	芸術・文化の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・芸術・文化活動の促進 ・文化施設の適切な管理運営と利用促進 ・文化施設の計画的な改修 	1	2	3	4	5
35	歴史遺産・文化財の保存と活用	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財等の理解・関心を高めるための活用策の推進 ・文化財や伝統文化等の継承への支援 ・桜町遺跡*の活用推進 	1	2	3	4	5

問2-5 上記の政策 30～35のうち、今後「重要度」が高いと思うものを1つだけ選んで右の枠内に番号を記入してください。

答2-5

*桜町遺跡：縄文時代の高床建物を証明する建築部材など次々と新しい発見をもたらし、従来の縄文観をくつがえす遺跡として全国レベルの高い評価を受けている。

<まちづくりの基本目標 6 心がやすらぐ健康とあたたかな福祉で支え合うまち>

番号	政策	主な施策	現在の満足度				
			高い	やや高い	どちらともいえない	やや低い	低い
36	地域医療体制の充実と健康づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・地域医療の充実 ・救急医療体制の充実 ・健康管理体制の強化 ・各世代に応じた健康増進事業の充実 ・心の健康づくりの推進 ・健康づくり活動の推進 	1	2	3	4	5
37	社会保障の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険制度の適正かつ安定的な運営 ・国民健康保険制度の適正かつ安定的な運営 ・後期高齢者医療制度の適正かつ安定的な運営 ・国民年金制度の普及・啓発 ・生活支援制度の充実と自立の助長 	1	2	3	4	5
38	地域ぐるみ福祉の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・「福祉の心」の醸成 ・地域福祉活動の促進 ・福祉ボランティア活動の促進 ・福祉のまちづくりの推進 	1	2	3	4	5
39	結婚支援の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・結婚活動への支援 ・結婚新生活への支援 	1	2	3	4	5
40	妊娠・出産・子育て支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠・出産への支援 ・子育て支援の充実 ・ひとり親家庭等への支援 ・子どもの権利の擁護 	1	2	3	4	5
41	就学前教育・保育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・教育・保育の質の向上 ・保護者の多様なニーズへの対応 	1	2	3	4	5
42	障害者及び障害児福祉の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・障害の早期発見と対応の充実 ・障害のある人の権利擁護 ・障害者福祉サービスの提供基盤の整備充実 ・自立と社会参加の促進 ・障害者福祉の総合的な取組の推進 	1	2	3	4	5
43	高齢者福祉の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・超高齢社会への対応 ・生きがい対策の充実 ・高齢者組織への支援 ・地域包括ケアシステム*の推進 ・施設サービスの充実 	1	2	3	4	5

*地域包括ケアシステム：高齢者や障害者が、住み慣れた地域で、安心して自分らしい生活を送れるように医療、障害福祉・介護、住まい、社会参加、地域の助け合い、教育が包括的に確保された社会システムのこと。

問2-6 上記の政策 36～43のうち、今後「重要度」が高いと思うものを1つだけ選んで右の枠内に番号を記入してください。

答2-6

問2-7 小矢部市に対する総合的な満足度を選んでください。

現在の満足度				
高い	やや高い	どちらともいえない	やや低い	低い
1	2	3	4	5

Ⅲ. 新型コロナウイルス感染症の影響についてお尋ねします。

問3-1 以下の項目それぞれについて、右の欄の1～5の中から最も近いものを1つ選んで○を付けてください。

番号	質問項目	ある	ややある	どちらともいえない	ややない	ない
1	あなたの家庭生活に影響はありますか。	1	2	3	4	5
2	あなたの学校生活または仕事に影響はありますか。	1	2	3	4	5
3	あなたの地域での活動(祭り、町内会など)に影響はありますか。	1	2	3	4	5

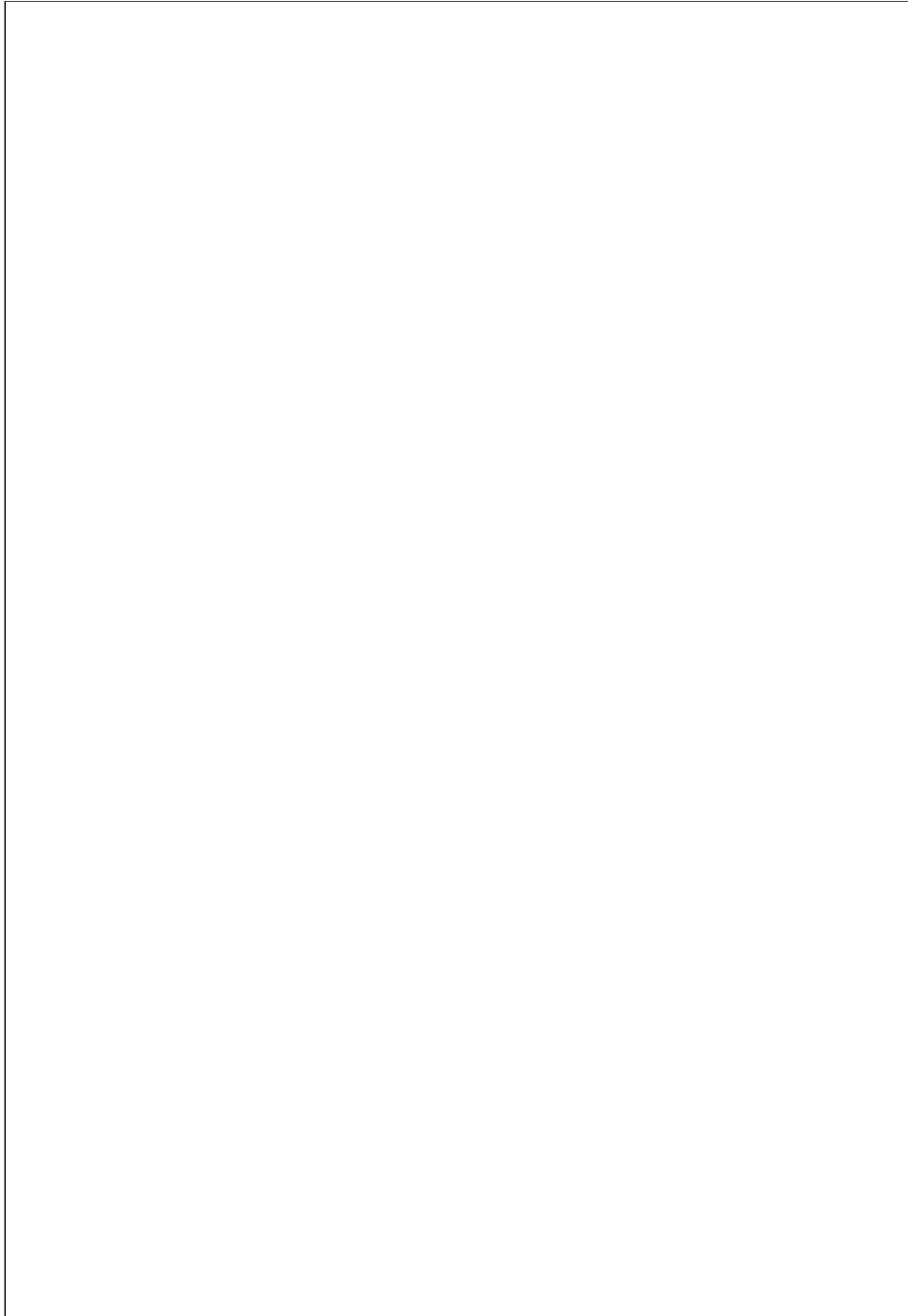
問3-2 新型コロナウイルス感染症全般について意見・要望などがありますか。

1. ある ⇒ 具体的に：

Large empty space for writing specific comments, enclosed in a large right-facing curly bracket.

2. ない

IV. 市への意見・要望など自由に記入してください。(新型コロナウイルス感染症関係を除く)



ここからは、富山大学による「小矢部型地域愛着形成プログラム」開発のためのアンケートです。

問 小矢部市に対する愛着や誇りに関する以下の項目それぞれについて、右の欄の1～5の中から最も近いものを1つ選んで○を付けてください。

番号	質問項目	あてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	ややあてはまらない	あてはまらない
1	小矢部市は住みやすいと思う	1	2	3	4	5
2	小矢部市が好きだ	1	2	3	4	5
3	小矢部市の雰囲気や土地柄が気に入っている	1	2	3	4	5
4	小矢部市に自分の居場所はない	1	2	3	4	5
5	小矢部市にずっと住み続けたい	1	2	3	4	5
6	小矢部市は大切だと思う	1	2	3	4	5
7	小矢部市にいつまでも変わって欲しくないものがある	1	2	3	4	5
8	小矢部市になくなってしまうと悲しいものがある	1	2	3	4	5
9	小矢部市は他のほとんどの地域より良い場所である	1	2	3	4	5
10	小矢部市を批判している人がいたら、小矢部市を擁護する	1	2	3	4	5
11	友人や家族に小矢部市の産品や製品を使うよう勧める	1	2	3	4	5
12	小矢部市のスポーツチームを積極的に応援する	1	2	3	4	5
13	地域社会の一員としての責任を真剣に考えている	1	2	3	4	5
14	自分のような人間が地域社会で重要な役割を果たすと思う	1	2	3	4	5
15	地域社会を良い場所にするための自分なりの貢献ができています	1	2	3	4	5
16	自分は地域社会に変化を起こすことができると思う	1	2	3	4	5
17	人生の大部分が小矢部市に結びついている	1	2	3	4	5
18	「小矢部の人」という言葉は、自分がどういう人物かをよく説明する言葉である	1	2	3	4	5
19	小矢部市民であることは自分にとって重要なことである	1	2	3	4	5
20	小矢部市は自分にとって特別な場所である	1	2	3	4	5

ご協力ありがとうございました。